

一立斎廣重

大日本物産図会

西日本編

広島安芸 牡蠣養培之図

広島備後 壺表製之図

徳島阿波 藍玉製之図

香川讃岐 白糖製之図

香川讃岐 二分

香川讃岐 小樽掘之図

愛媛伊予



縮製之図

長崎

網



壺製之図

和歌山

之図

兵庫松尾

網ノリ網之図

兵庫



姫路革店之図

赤穂塩浜之図

広島安芸 牡蠣養培之図



広島備後 壺表製之図

開催期間：2020年12月9日(水)～2021年3月31日(水)

開催場所：神戸学院大学有瀬図書館

本館2階 エントランス展示コーナー

大日本物産図会

「大日本物産図会」は明治初期の日本各地の産業とそれに関わる人々や社会、風俗を描いたシリーズものの錦絵です。

明治10年に開催された内国勸業博覧会に出品されました。

労働者の実態や風俗に重点が置かれた浮世絵は、従来には無い斬新な作品でした。本作品は全国60地域余り、110画で構成され、美しく繊細な色合いで描かれています。大別すると、農産物43画、水産物31画、商工26画、鉱業8画畜産2画に分けられます。



京都府 山城国 宇治茶摘之図

錦絵とは

たしよくず

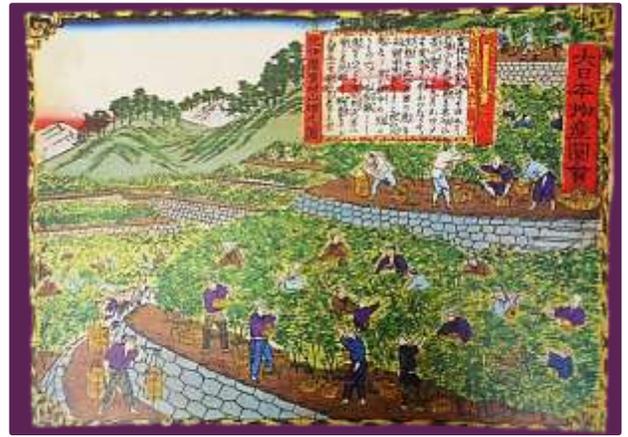
錦絵は浮世絵の手法の一つで、多色摺りの浮世絵木版画のことです。

鮮やかで色彩や淡いグラデーションが特徴で、それまでの主流であった黒摺り絵や紅摺り絵よりも華やかな画になりました。

錦絵制作には、絵を描く錦絵師、版木に起こす彫師、摺り起こす摺師の三職人による生産システムが確立され、安価なものが大量に供給されました。錦絵は江戸の庶民だけでなく、富裕層や、地方の人々にまで人気がありました。



大阪 和泉国 堺打物見世之圖



近畿

和歌山 紀伊国 蜜柑山畑之圖

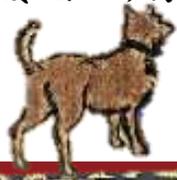


愛媛 伊豫国 峯越鳥捕之圖

中国・四国



岡山 備前国 白魚漁之圖



熊本 肥後国 田刈場之圖

九州



長崎 壱岐国 鯨漁之圖



展示の様子



編集後記

今回のギャラリー展は、明治初期の日本各地の名産を描いた浮世絵が多数展示されています。西日本編は、宇治の茶摘みや広島の特産など、現代も名産として力強く根付いているものが多く、昔の生産方法の様子なども楽しんでいただけたと思います。スタッフ一同、楽しんで展示しました。是非、ご覧ください。

参考文献

公益財団法人 渋沢栄一記念財団 最終アクセス日2020年12月17日
<https://www.shibusawa.or.jp/museum/newsletter/261.html>
太田記念美術館 最終アクセス日2020年12月17日
http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/exhibition/2015_chozetsugikou
国立国会図書館「錦絵でたのしむ江戸の名所」最終アクセス日2020年12月17日
<https://www.ndl.go.jp/landmarks/column/2.html>



神戸学院大学図書館 展示会通信 MERIDIAN 第56号
2020年12月21日発行
発行・編集: 神戸学院大学 有瀬図書館
〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518
Tel: 078(974)4584 E-mail: pub-lib@j.kobegakuin.ac.jp
ホームページURL: <http://opac.kobegakuin.ac.jp/>